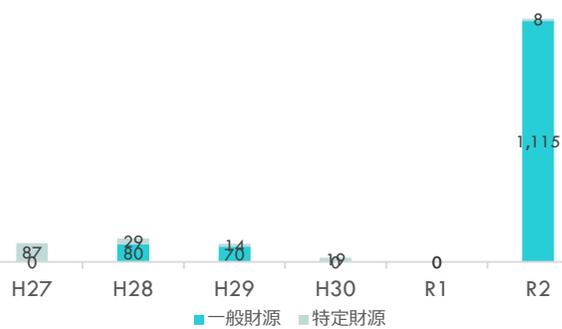


環境課

経常的経費の財源(万円)



臨時的経費の財源(万円)



普通建設事業費の財源(万円)

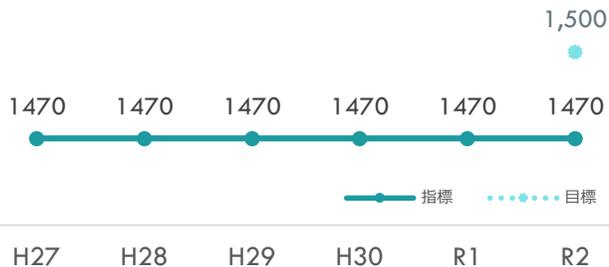


現状と課題

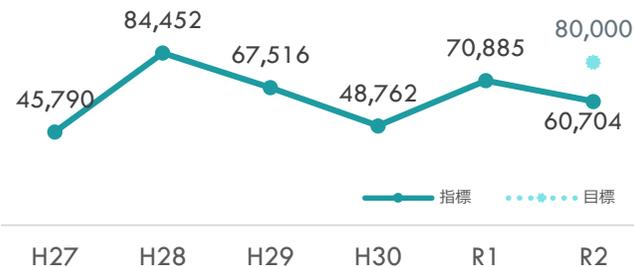
斎場は備前地域と日生地域にあり、現在は、主にそれぞれの地域で使用されています。吉永地域については、和気北部衛生施設組合の施設を主に使用しています。適正な火葬執行に努めていますが、運営体制だけでなく維持管理費等コスト面から考えると旧市町の体制を継続していることが課題となっています。墓地については、市営墓地として13箇所1,470区画を整備していますが、将来の需供を見極めながら整備を進めていく必要があります。

成果指標

市営墓地の区画数 (区画)



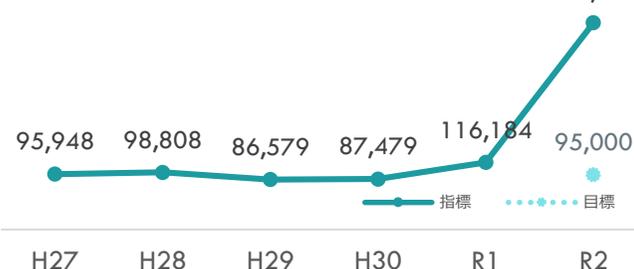
備前斎場の1件あたりの執行経費 (円)



日生斎場の1件あたりの執行経費 (円)



和気斎場の1件あたりの執行経費 (円)



指標の説明・・・

墓地需要に対し、官民の役割分担による墓地供給を図っていかなければなりません。墓地の経営許可や市営墓地の造成等、市が主体となって墓地需要を満たし公衆衛生を守っていく必要があります。効率的な斎場運営を行う必要があります。【(直接事業費+人件費)/執行件数】

課題に対する主な取組

課題	課題に対する主な取組	概要	臨経区分	予算執行(万円)	特定財源(万円)	アウトプット(どのくらいの事業や取組を行ったか)	アウトカム(どれだけの成果が得られたか)
施設の維持管理	備前斎場火葬炉改修工事・日生斎場設備工事・修繕	備前斎場の断熱扉、炉本体、再燃焼炉、台車、誘引送風機等の改修工事 日生斎場の空調設備工事、台車駆動装置交換修繕	普通建設事業費	1,243万円	-	備前斎場工事 1件 日生斎場工事 1件 日生斎場修繕 1件	安定した火葬執行ができた 備前548件、日生86件
適正規模の検討	市外使用者到着時間撤廃	市外扱いの、13時までに到着の規定を外し、市内扱いと同様にした	-	-	-	マニュアル修正	市外使用者前年度比47.6%増 (R3年度155件、R2年度105件)
地区管理墓地への維持管理支援	地区管理墓地整備補助金	補助率1/2 上限額あり (支障木の伐採 上限40万円)	普通建設事業費	30万円	-	交付件数 1件 地区管理墓地内の支障木伐採	支障木伐採により、地区管理墓地の安全な管理を行うことができた。
市営墓地の維持	広報紙への募集掲載 墓地返還に伴う還付金	市営墓地11か所 永代使用料は各墓地により異なる。返還に伴う還付は使用年数により異なる。	経常的経費	412万円	412万円	申請処理件数 新規使用 12件 返還 20件	使用区画数 1,410区画 残区画 60区画 (前年52区画)

施策の評価

一次評価者	役職	環境課長	令和2年度の斎場運営については、和気北部衛生施設組合からの脱退負担金の経費が増となった。火葬執行件数については、市外扱いが増している。令和3年度からは、市外扱いの料金を改定したため、減少すると思われる、適正運営が図られる。 墓地の整備については、以前より要望があったが、近年、返還希望者が増加しており、墓地整備は慎重に検討する必要がある。また、個人墓地、地区共同墓地の適正管理を推進することで、市営墓地への依存を減少させる必要がある。
	氏名	芳田 猛	
二次評価者	役職	市民生活部長	斎場については、和気北部衛生施設組合営火葬場から脱退し、市営の備前斎場と日生斎場の2カ所の管理運営となり財政的に軽減が図れたが、老朽化した施設を管理する上で、今後の高齢者数等の見込みを視野に周辺環境の維持と火葬効率の適正化を図っていく必要がある。墓地については、本市に限らず社会的傾向として、市営墓地の用地返納が増えているため、空き用地については、使用希望者を随時募集する方法など工夫し、早期に墓地供給が行うようできた。
	氏名	藤田 政宣	